

質問事項	評価					
	満足	やや満足	普通	少し気になる	とても気になる	わからない
お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40.0%	26.7%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%
職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。また、お子さんのことを十分に理解し、特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	73.3%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%
個別支援計画書の内容は、具体的かつわかりやすいと思いますか。	86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	66.7%	26.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
活動プログラム（運動・静かな時間・SST・英語・クッキング・レク等）が固定化しないよう工夫されていると思いますか。	60.0%	33.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明がなされていると思いますか。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
日頃からお子さんの状況や様子を、送迎時や連絡帳等で、十分伝えられていると思いますか。	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業所の職員から共感的に支援されていると思いますか。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
定期的に予定表・お便り・ブログ・マチコミ等で、行事予定や連絡体制等の情報、自己評価の結果をお子さんや保護者に対して発信していると思いますか。	73.3%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
個人情報の取り扱いには十分注意していると思いますか。	73.3%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練等が行われていると思いますか。	46.7%	26.7%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%
お子さんは、安心感をもって通所していますか。	73.3%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%
お子さんは、通所を楽しみにしていますか。	66.7%	26.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
事業所の支援に満足していますか。	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ココカラーで実施してほしいイベントはありますか。 ＊以前実施したもので構いません	外出系（外食レク・遠足・公園・動物とのふれあい・ドライブ・お散歩） クッキング・製作の回数を増やしてもらいたい・映画鑑賞 など					

ご意見や感想等がございましたらこちらにご記入ください。

<p>いつもお世話になり、ありがたく思っています。毎回楽しませてもらっています。ありがとうございます。</p> <p>トラブルがあっても、本人に寄り添った支援をして下さり、本当に感謝しております。本人はとってもココカラーが大好きで、毎回行のを楽しみにしています。</p> <p>人との関わり合いでトラブルになると通所することに対して嫌がることはありますが、なるべく通わせてあげたい気持ちがあるので、お手数ですがこれからもよろしく願っています。</p> <p>毎月遊びの計画が書いてあるの嬉しいです。公園等の外遊びも楽しいようです。廃材を持って行けるのも良いです。写真付き1日の出来事（連絡帳）も毎回嬉しいです。</p> <p>食事マナーやテーブルマナー、お橋の使い方などが学べると良い。</p> <p>入所前見学のあと、本人が通うか悩んでいましたが、今は楽しい！！と毎日行きたいと言っています。一番製作の日が好きみたいです。季節感もあったり、いつもステキでありがとうございます。</p> <p>面談日等、来所で伝えられない人には、LINEしてほしい。→申し訳ありません。連絡帳以外にもLINEやお電話などで早めにお伝えできるよう工夫してまいります。</p> <p>先生方の顔と名前が一致しないので、簡単な良いので紹介（紙等）して下さると良いかなと思います。→ご意見ありがとうございます。新年度や新たに職員が入ったタイミングでお知らせできたらと思います。</p>
--

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ココカラー館山教室					公表日	2026年 3月 6日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3			基準は満たしているものの、利用人数や学年によっては狭く感じるため、本社（北条教室）の庭を活用したり、公園遊びや活動内容の工夫を図ったりしていきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			タイムスケジュールを文字やイラスト等を用いて掲示しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			毎日の清掃や定期清掃をリスト化して実施するとともに、コロナ禍以降も消毒や換気等を継続しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				常に整理整頓されているよう心がけています。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			1日2回のミーティングを行うとともに、定期的に職員会議や個別支援会議を開催しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			毎年実施し、いただいたご意見を参考に改善に努めています。昨年度から外出やイベントの機会を増やし、喜んでいただくことができました。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		他の事業所の指導や助言を参考に、業務改善に努めています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			外部研修への参加や社内研修及び事例検討等を実施しています。また、参加できなかった職員には、事業所での研修報告を行っています。			
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			個別支援計画に記載された内容をもとに、職員にも企画案を募りながら作成し、ホームページに公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			面談や個別支援会議前に保護者の方にご意向等を伺ったうえで、6ヶ月に1回以上モニタリングを行っています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			個別支援会議にて、ご意向や日頃の様子を職員間で共有し、課題や強み、支援内容を検討しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3		個別支援会議やサービス計画を記録して共有し、その内容も共有して共有しています。	捉え方の違いもあり、職員に上手く伝わっていなかったことがあるため、共通理解ができていないかの確認まで徹底していきたいです。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3		標準化されたアセスメントツールを参考にすることもありますが、全員に対してではないので、必要に応じて検討していきたいです。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2			どの項目も盛り込むようにしていますが、計画の主となる本人支援以外の内容も、わかりやすく設定・記載することをより心がけていきたいです。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			職員からアイデアを募り、詳細を決定しています。英語や製作等、職員の得意分野をはじめ、様々な活動を取り入れられるよう心がけています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			様々な経験を積めるようプログラムの予定を立て、日々の活動においても、子どもたちの好きなものを取り入れつつ、内容が前日と被りすぎないよう調整しています。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	4		集団活動が主ですが、個別に目標や課題を設定して、同じ活動でもそれぞれに合わせた支援を行っています。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			支援開始前にミーティングを行い、活動内容や役割等の確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			支援終了後や翌日の朝礼でミーティングを行い、子どもの様子や連絡事項等共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			記録はなるべく詳細を心がけ、ヒヤリハット等に関しては別紙にも記録しながら必要に応じて支援の検証・改善に繋げ、会議や計画書にも活用しています。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			5領域に関するご意向を事前に調査したうえで、6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8			4つの基本活動を組み合わせた様々なプログラムや支援を提供しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	4		活動内容のリクエストをもらったり、複数の選択肢の中から決定してもらったりと自己選択・自己決定の機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	3		個人情報等の観点から難しい学校もありますが、積極的に情報共有・連絡調整をしてくださる学校もあり、こちらもこまめにご連絡を心がけています。	常に時間に余裕を持って行動し、子どもたちの様子について、こちらからも積極的に確認していきます。登所後に学校の様子で気になることがあれば、学校にお電話することも検討していきたいと思えます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4		児童発達支援事業所との情報共有を行うことがあります。保育園・幼稚園・こども園の様子は、ご家族や相談支援事業所の方から聞き取りを行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8		まだそのような例はありませんが、他の事業所をご利用される際に、ご家族の許可を得て引き継ぎをさせていただくことがあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		8		医療機関から助言をいただき、支援に活かしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		地域の図書館でのお話し会に参加したり、公園等に遊びに行き交流したりしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			積極的に参加するとともに、事業所内でも情報共有をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			連絡帳や送迎時等に情報共有を行っています。また、必要に応じてお電話やLINEをしたり、面談を行ったりすることもあります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	1		助言や情報提供をすることはありますが、家族支援プログラムや研修等はこれから整えていきたいです。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			見学や契約時に、パンフレットや書類等を用いて説明するほか、質問があれば丁寧に説明するよう心がけています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			連絡帳や送迎時等に情報共有を行っています。また、必要に応じてお電話や面談を行うこともあります。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	1	保護者会というかたちではありませんが、今年度は夏祭りを開催し、ご家族やきょうだいにもご参加いただき、交流する機会を設けました。	保護者の方が参加できるイベントを複数回企画していきます。（夏祭り・クッキング・参観日など）
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			苦情があった場合には、適切に対応できるよう報告や会議等を行い、迅速な対応を心がけています。		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			予定表で行事予定を伝えたり、毎月お便りを発行したり、ブログでイベント等の活動内容を公開したりしています。また、予定変更や詳細については、マチコメールでお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			視覚支援や事前説明、個別の声掛け等でサポートしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			各マニュアルを策定し、年数回避難訓練を実施しています。(地震・火災・風水害・不審者等)	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			相談支援事業所との情報共有やご家族からの聞き取り等に行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			医師からの指示書はいただいませんが、保護者の方から医師の指示を確認して対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			非常災害時の対応や避難場所などは文書にてお配りしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			ヒヤリハットは適時作成・共有し、必要に応じて会議等を行い、再発防止に向けた方策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			外部研修や社内研修を行っています。また、外部研修後は伝達研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			個別支援会議にて組織的に決定し、個別支援計画に記載したうえでご説明し許可を取っています。		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココカラー館山教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		～ 2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動を軸とした、多彩な活動内容やイベント。	毎日の活動(運動・静かな時間)だけでなく、製作・クッキング・お買い物ごっこ・英語・季節ごとのレク・外食レクなど様々なイベントを取り入れることで、色々な経験をし、子どもたちのやる気や自信を育むサポートをしています。 イベントは職員から案を募り、児童の反応や保護者アンケートを参考にしながら企画・実施をしています。終了後は反省会をして、次のイベントに活かすようにしています。	これまでの活動やイベントはもちろん、年代別・課題別の活動や個別活動にも力を入れていくことで、楽しみながら通ってもらい、やがてそれぞれの児童が個々のカラーを活かし、将来イキイキと生活する力を身につけるサポートをしていきます。
2	職員の良好な関係性と、活動への姿勢。	基本的にはいつも笑顔でいることや、年齢や勤務形態関係なく話しやすい雰囲気づくりを心がけています。朝礼や個別支援会議でももちろん、それ以外の場でも情報共有を行い、支援に活かしています。 大人にも苦手なことや失敗をすることがあることを知ってもらったり、『嬉しい』だけでなく『悔しい』等様々な気持ちを共有したりするために、活動には職員も一緒に参加するようにしています。	児童についての悩みや困りを共有することで、より良い支援に繋がっていきいます。 現在も事業所内研修や、外部研修後の共有を行っているが、より充実させて、職員一人一人のスキルアップを図っていきます。
3	保護者との情報共有。	日頃から送迎時や連絡帳、必要に応じてお電話やLINE、面談で情報共有をしています。連絡帳は写真付きでお渡ししているため、文章だけでなくイメージしやすいと思います。	状況によっては、連絡帳を当日お渡しできないことがあるため、支援に支障がない範囲で当日お渡しできたらと思います。できなかった場合は、お電話やLINEでお伝えしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが狭く感じる。	基準は満たしているものの、家具やおもちゃがあったり、縦長の部屋だったりすることで、狭く見えてしまいます。また、利用人数や学年によっても活動スペースが狭く感じてしまうことがあります。	庭や公園での外遊びの機会や、外出の機会を増やしたり、遊びや活動を充実させたりしていきます。
2	事業所で非常災害訓練や避難訓練等を行っているが、情報が周知されていないことがある。	年数回定期的に行っているが、その日に利用していない児童が参加できないこと、雨天等により実際の避難場所までの移動が難しいこと等の問題があります。	必要な訓練等を行った際には、ブログだけではなく、送迎時にお伝えしたり、毎月のお便りに掲載したりするなどしていきます。 例えば、決まった1日だけではなく、避難訓練Weekとして、静かな時間にヘルメットの装着方法、防災クイズを行うなど開催方法を検討していきます。
3	学校との連携不足。	下校時間が分単位で異なる学校各所にお迎えに行くため、常に時間に追われていることから、ゆっくりと引継ぎを行うことが難しいのが現状です。引き継ぎ方法も学校により様々で、担任の先生が丁寧な引継ぎを行う学校もあれば、先生が不在で児童だけで待機していることや、担任の先生ではない先生と待機していることもあります。	常に時間に余裕を持って行動し、子どもたちの様子について、こちらからも積極的に確認していきます。(特にイライラしているときや、元気がないときなど。)登所後に学校の様子で気になることがあれば、学校にお電話することも検討していきたいと思います。